

Ⅱ 校名・校章・校歌・制服等検討部会

1 部会検討課題

- (1) 校名（統合小学校名、一貫教育校の総称）の検討
- (2) 校章（校旗も含む）の検討
- (3) 校歌の検討
- (4) 制服等の選定と検討
- (5) P T A組織と予算
- (6) 新後援会組織
- (7) 一貫校説明会
- (8) 竣工式・入校式・開校式案について

2 検討経過

(1) 第3回制服・ジャージ等選定作業部会（4月18日（木）、東庁舎会議室）

- ① 制服等検討スケジュールの改訂について
 - ・ジャージ、カバン、シューズについては、制服と時期をずらして制服と同様の手順で選定を進めていくことを確認した。
- ② 小中一貫教育校の特色、制服の役割についての確認
 - ・制服の役割について、制服見本展示説明会の資料により確認した。
- ③ 制服着用学年の検討について
 - ・制服の着用学年について、練馬区大泉桜学園の例を参考に部会員より意見を出してもらい検討した。
意見▷標準服として奨励・推奨するやり方は、制服と私服が混在し服装指導がしづらい。また、保護者もいつから着せたらいいか選択しづらい。
▷小中一貫教育の4-3-2制をとるのであれば、現行の学年にこだわるべきでなく、中期（5年生）から着用するのが最も自然（スムーズ）である。
▷標準服という位置づけは曖昧で保護者の方も分かりにくい、制服として同学年みんなが一緒に着用するほうが良い。など
以上のような意見を踏まえ実施計画策定委員会で決定することで確認した。
- ④ 制服のタイプについて
 - ・作業部会としては、男女ともにブレザータイプを選定した。

(2) 第4回制服・ジャージ等選定作業部会（5月29日（水）本庁舎議員協議会室）

- ① 制服見本提出依頼案の検討
 - ・カンコー、スクールタイガー、トンボ、富士ヨットの制服4大メーカーに依頼。
- ② 制服の基デザイン基本仕様について
 - ・男女ともブレザータイプ
 - ・着用学年については、策定委員会の決定待ち。
 - ・コンセプト「山形県初の施設一体型小中一貫教育校にふさわしい、男女ともさわやかなデザインであること」
 - ・素材の良質さ、機能性、指導のしやすさを重視。

- ・ 8 / 19 (月) に 4 社による制服見本のプレゼンテーションを実施する。

③ 制服選定業務実施要項の検討

「目的」、「制服の選定(選定方法)(プレゼンテーションの参加業者資格)(基本仕様について)(選定に係るスケジュール)(選定後について)」

(3) 第7回部会(6月13日(木)、上下水道庁舎研修室)

① 萩野地区小中一貫教育校【総称】の公募結果と選考方法について

応募総数 262 件、候補名数 135 件。選考方法は、検討部会においてアンケートを実施し 3 候補名に絞り、その中から実施計画策定委員会において 1 つに決定してもらう

② 制服着用学年及び制服のタイプについて

作業部会においては、5 年生から着用という意見がほとんどであったが、検討部会においては、1 年生から着用という意見も若干あった。理想としては、1 年生から全員が制服を着用し開校式をしたいが、現実的には、保護者の負担などを考えれば 5 年生からというのが本音のようであった。この 2 案を検討部会の案とし実施計画策定委員会において決定してもらう。

制服のタイプについては作業部会の原案どおり男女ともにブレザータイプで確認した

③ 制服選定業務実施要領及び制服サンプルの提出依頼について、作業部会の原案について協議し、概ね原案どおりの内容で確認した。

(4) 第5回制服・ジャージ等選定作業部会(6月27日(木)、東庁舎会議室)

① 第4回作業部会報告

② ジャージ等選定業務実施要項の確認について

- ・ カバン、シューズはプレゼンを実施しない。
- ・ ジャージのデザインは小1から中3まで同一デザインとする。
- ・ 上着はかぶりタイプのブルゾン型、パンツはセミストレートタイプとする。
- ・ 色は、紺又はブルー系とする。
- ・ プレゼン依頼業者は、北部4校に納入実績ある者を含め4社とする。

カンコー、トンボ、児島株式会社、クラロン

③ カバンの検討(基本仕様)について

- ・ 小学生用カバンの採用については、ランドセルとの関連で、未定。
- ・ 見本依頼業者は、萩野中に納入実績ある者を含め2社とする。

山形オザキ(キタダ)、株式会社マルヨシ山形営業所(マルヨシ)

④ シューズの基本仕様について

- ・ 内履きは小学生用、中学生用の両方を指定する。
- ・ 小学生用内履きは、下学年はひものない、上学年はひも付きタイプとし、切替の学年は特に指定しない(現行の泉田小の例に倣う)
- ・ 外履きは中学生用のみ指定する。(小学生用は指定しない)

- ・見本依頼業者は、北部4校に納入実績ある者を含め2社とする。
 - 山形オザキ（下学年用⇒ラッキーベル、上学年用⇒アシックス）
 - 株式会社マジェス山形（山形教育シューズ）

(5) プレゼンテーション業者説明会（6月28日（金）、東庁舎会議室）

- ① 参加業者カンコー学生服、スクールタイガー、トンボ学生服、富士ヨット学生服の4社
- ② 萩野地区小中一貫教育校（仮称）の制服等選定業務実施要項について
選定方法、参加業者資格、プレゼンについて
制服基本仕様（男女ともブレザータイプ、色は自由、象徴性、素材の良質さ
服地は毛30%以上など）
- ③ 質疑応答（特になし）
- ④ プレゼンテーション順番決め

(6) 第8回部会（7月18日（木）、東庁舎会議室）

- ① 萩野地区小中一貫教育校【総称】候補選考について
委員によるアンケートでは、和泉野学園、萩野学園、桜学園などのポイント
が高かった。策定委員会に報告する。
- ② 萩野地区小中教育校 校章決定のプロセスについて
ア 校章デザイン公募（平成25年9月～25年11月）
イ 校章デザイン選定（平成25年11月～25年12月）
ウ 校章デザイン成型（平成26年1月～）
エ 校章モニュメント作成（平成26年度中）
オ 完成校章公表（平成26年度中）
- ③ 制服・ジャージ等作業部会における作業経過について
ジャージ等選定業務実施要項、プレゼン実施要項について

(7) 第6回制服・ジャージ等選定作業部会（7月18日（木）、東庁舎会議室）

- ① ジャージの選定業務実施要項について
基本仕様（運動着は小中とも同じデザイン、上はかぶり型、すそはしぼりタイプ。下は、セミストレートタイプ、色は紺かブルー系。象徴性、素材のよさ、機能性の高いもの、名前は刺繍せずタグで。）
平成27年4月以前でも、前倒しで、新ジャージの購入を検討したいとの意見。
- ② カバンの検討
プレゼンしないで選定。作業部会でカタログで2社に絞る。小学生の指定カバンも一応提案する。
機能として、撥水性、安全のための反射材、ファスナーのついたもの。
業者は、キタダとマルヨシの中から選定する。
- ③ シューズの検討

プレゼンしないで選定。作業部会においてカタログで2社に絞る。

内履きは小中とも指定する。小学生下学年用内履きは、ひもなし。滑らなくて軽い。抗菌、抗カビタイプ。中敷きが外せるもの。

外履きは、中学生のみ指定。業者は、ラッキーベル（小）、アシックス（中）、教育シューズ（小中）から選定。など

（8）制服見本プレゼンテーション（8月19日（月）、市民プラザ小ホール）

- ① 参会者 実施計画策定委員会委員（15名）、校名・校章・校歌・制服等検討部員（12名）、制服・ジャージ等選定作業部員（16名）
- ② 委員プレゼン打ち合わせ
- ③ プレゼンテーション（1業者30分ずつ、各準備時間15分）
ア) カンコー、イ) トンボ、ウ) 富士ヨット、エ) スクールタイガー
- ④ 委員プレゼンまとめ

（9）制服見本巡回展示（8月20日（火）～8月30日（金））

- ① 展示場所
▽8/20（火）、21（水） 萩野小学校
▽8/22（木）、23（金） 昭和小学校
▽8/27（火）、28（水） 泉田小学校
▽8/29（木）、30（木） 萩野中学校
- ② 展示物
・制服見本は、業者（4業者）ごとに、中学生男女の冬用と夏用及び小学生男女の冬用の計6体ずつ展示。（6体×4社＝全24体）
・この日程の中で、保護者はどの会場でも、展示見本を見ることができるとした。
・各校の第2日目の展示終了後、業者の担当者が、展示品をその日の内に次の展示校に移動した。

（10）第8回制服・ジャージ等選定作業部会（9月13日（金）、東庁舎会議室）

- ① 制服業者選定について
・選定プレゼンテーションの採点結果等の説明
・部会員からの意見
児童生徒は制服見本を見比べ、実際に試着した上で一番着たい物を選んだので、小中学生の意見を大事にしスクールタイガーが良い（価格は保護者が考えること）。
→作業部会の第1次選定としては、作業部会委員13名の採決の結果、スクールタイガーが過半数となった。
- ② ジャージ等選定に係るプレゼンテーション等について
・カバン、シューズはプレゼンを実施しないで、ジャージのプレゼンの時に、カタログで絞った数社の展示見本を採点してもらう。
・ジャージの最終決定は実施計画策定委員会、カバン、シューズ最終決定は校名・校章・校歌・制服等検討部会でおこなう。

・ 9月20日（金）に開催する業者説明会の内容について確認。

③ 意見・要望

- ・ 制服の着用時期を前倒しして、来年度の中学校新1年生から着られるようにしてもらえないか。
- ・ 着用学年を実施計画策定委員会で早く決めてほしい。

④ その他

制服業者が決定してから、改善点・意見要望を取りまとめて業者と調整するため、作業部会を10月2日（水）市民プラザ小ホールで開催することにした。

(11) 第10回部会（9月19日（木）、東庁舎会議室）

（8/19の制服プレゼンテーションを第9回とした。）

① 制服のプレゼン・巡回展示を踏まえた業者選定について

ア プレゼン採点結果及びアンケート結果について

- ・ 校名・校章・校歌・制服等検討部会での業者選定について

▷保護者は子供が望むものを着せたいと思うのは当然の発想だが、カンコーも別に値段だけでなく、他の評価項目でもスクールタイガーに近い評価を得ており、バランスを考えるとカンコーがよい（多数意見）。

→校名・校章・校歌・制服等検討部会では、トータルバランス、総合的に評価が高いカンコーを選定した。

② 着用の前倒しについて

決定した業者に依頼し、平成26年4月に萩野中学校に入学する生徒から着用できるのであれば、その方がいい。

③ 着用学年について（主な意見）

- ・ 小学生に制服は必要ないとの声が保護者からでている。
- ・ 現行の6・3制がやはり頭にあるので、どうしても中学生しか制服は要らないと言う声を聞く。ただし4.3.2のブロック制の説明をした上で、制服の着用学年の話を知ると、現行の小学5年生からの着用についても、すんなり納得してくれる保護者が多いと思われる。
- ・ 4-3-2のブロック制の考えが保護者及び地域に浸透していないから着用学年は中学生でいいという事にはならない。
- ・ 折角の小中一貫校なので、1年生～9年生まで制服を着せるべきだと思う。
- ・ アンケートの意見どおり、中学生からの着用でいい。開校して慣れて来たら、順次、着用学年を引き下げる事は出来ないのか。

④ ジャージ等選定に係るプレゼンテーション・見本展示について

- ・ 依頼業者について
- ・ 基本仕様、実施要項について
- ・ 業者説明会について

(12) 第9回制服・ジャージ等選定作業部会（10月2日（水）、市民プラザ小ホール）

① 制服製造業者カンコー（山形オザキ）との細部打ち合わせ

ア 制服着用学年の確認について

平成26年度萩野中学校新1年生の制服着用から対応できるとの業者の
確約が得られた。

イ デザイン等の要望事項について

- ・ウールアレルギー対応について、次回まで対応策を示して欲しい。
- ・小学校ポロシャツのボタンの色は赤と黒の両方を次回まで提示する。
- ・中学生のネクタイとリボンについて、次回まで提示する。
- ・中学生夏用制服用の半袖シャツとポロシャツについて次回まで提示する。
- ・小学生の夏用制服を次回まで提案する。シャツを中に入れるタイプで。

ウ 販売価格について

もう少し、更に価格を下げて提示してもらえないか、次回まで検討して
欲しい。

エ 地元取扱業者について

大野呉服店に加えてもう1店を次回まで提示して欲しい。

② 今後のスケジュールの確認

(13) ジャージ見本プレゼンテーション（11月1日（金）、市民プラザ小ホール）

① 参会者 実施計画策定委員会委員（15名）、校名・校章・校歌・制服等検討部
員（12名）、制服・ジャージ等選定作業部員（16名）

② 委員プレゼン打ち合わせ

③ プレゼンテーション（1業者25分ずつ、各準備時間10分）

ア) クラロン、イ) 児島株式会社、ウ) トンボ、エ) カンコー

④ 委員プレゼンまとめ

⑤ その他

- ・カバン、シューズの選考

（同日、13:15～13:55、プラザ5、6研修室にて）

校名・校章・校歌・制服等検討部員（12名）、制服・ジャージ等選定作業部
員（16名）が採点。

(14) 第11回部会及び第11回制服・ジャージ等選定作業部会

（11月1日（金）、市民プラザ小ホール）

① 制服業者（カンコー）との打ち合わせ（その2）

ア前回の要望事項に対する業者提案

- ・中学生男女制服 ネクタイ、リボンについて

男子ネクタイ＝水色、女子リボン＝パープル（ワンタッチタイプ）

- ・中学生男女夏服 正装 男子：Yシャツ（半袖、ボタンダウン、ボタン灰色）

女子：オーバーブラウス（半袖）

※左袖Hマーク刺繍（男子：シルバーグレー、女子ピンク）

- 男女ポロシャツも可、※左袖Hマーク刺繍（男女：紺色）、胸ポケット有り
- ・小学生制服 ポロシャツのボタン → 紺色のもの
- ・小学生制服 夏服 男児 半ズボン、半袖ポロシャツ
女児 スカート、サスペンダー、半袖ポロシャツ
- ・価格について → 次回作業部会（11/22）に提示
- ・ウールアレルギー対応について
 - ア）シルクタッチ加工（有料、送料も個人負担）
 - イ）裏地加工対応（有料）、ウ）上衣別素材対応（有料）
- ・取り扱い地元業者について 大野呉服店、西田五兵衛商店に内諾を得た。
- ・制服のボタンを「萩野学園」バージョン「H」に。

(15) 第12回部会（11月7日（木）、東庁舎会議室）

- ① 第11回制服ジャージ等作業部会報告
- ② 制服の最終見本等の確認
 - ・最終見本の仕様
 - ・ウールアレルギー対応について
 - ・取り扱い地元業者について
- ③ ジャージ見本のプレゼンテーションとシューズ・カバンの見本展示について
- ④ 校章選考委員会の設置及び委員の委嘱について

委員長	八 木 文 子	山形大学地域教育文化学部准教授
委員	半 田 豊	元明倫中学校長
委員	吉 野 敏 充	吉野敏充デザイン事務所 デザイナー

- ⑤ 校歌の作詞依頼者について

(16) ジャージ見本巡回展示（11月3日（日）～15日（金））

- ① 展示場所
 - ▽ 11/3（日）、 6（水） 萩野小学校
 - ▽ 11/7（木）、 8（金） 昭和小学校
 - ▽ 11/11（月）、 12（火） 泉田小学校
 - ▽ 11/14（木）、 15（金） 萩野中学校
- ② 展示物
 - ・ジャージ見本は、業者（四業者）ごとに、小・中学生別のジャージ上下、ハーフパンツ、半袖の計4体ずつ展示。（4体×4社＝全16体）
 - ・この日程の中で、保護者はどの会場でも展示見本を見ることができるとした。
 - ・ジャージ見本の移動は、各校の展示初日の午前中に行った。
 - ・巡回展示では、児童生徒、教職員、保護者、地区民の方から見ていただきアンケートにご協力をいただいた。

(17) 第12回制服・ジャージ等選定作業部会（11月22日（金）、東庁舎会議室）

- ① 制服業者との最終打ち合わせ（その3）

- ・前回の要望事項に対する業者提案の最終確認
(価格については、消費税増税分を最大限抑えた価格が提示され承認された。
取り扱い業者は、大野呉服店、西田五兵衛商店で決定)
- ② ジャージ、カバン、シューズの業者第一次選定
 - ・総合得点の一番高かった㈱クラロンを全会一致で選定
 - ・色・素材は小中同一のものとし、色は紺色、生地は中学生の見本のものとする。
 - ・名前ワッペンが大き過ぎるので小さくして欲しいとの要望があった。
 - ・検討過程で、1業者から、福島原発の事故の影響について、公的機関による「安全である」との検査データの情報が示された。
- ③ カバンの選定について
 - 総合得点の一番高かった㈱マルヨシを全会一致で選定
 - ・小学生のカバンは指定せず6年生までランドセルとし、7年生から指定カバンとする。
 - ・カバンの底に底鋳を付けられないか、業者と確認する。
- ④ シューズの選定について
 - ・小学生・中学生シューズのいずれも総合得点の一番高かった㈱教育シューズの㈱ジェス山形をに全会一致で選定
 - ・小学生の外履きシューズは指定しない。

(18) 校章選考委員会（12月3日（火）、議員協議会室）

- ① 審査員 八木文子選考委員長、半田豊選考委員、吉野敏充選考委員
- ② 選考対象作品 124作品
- ③ 選考結果
 - 最優秀賞⇒新庄市 京野秀明さん
審査員評から
 - ・飽きのこないデザインで、見る人の心を打つデザインである。
 - ・「萩」の字を囲むような表現が、学校という場所のイメージにつながる。
 - ・小中一貫教育の9年間の中で愛されるデザインであり、伝統的で子ども達が伸び伸びと育っていくようなふくよかで優しい印象を受けた。
 - 優秀賞 ⇒仙台市 小嶋雄一さん、弘前市 工藤和久さん
新庄市 奥山敏彦さん
 - 奨励賞 ⇒藤沢市 三浦優大さん

(19) 第13回部会（12月5日（木）、本庁舎議員協議会室）

- ① 制服・ジャージ等作業部会報告
 - ジャージ、カバン、シューズの1次選定
- ② ジャージ業者の2次選定
 - 採点の集計結果、作業部会による1次選定結果を踏まえ、校名・校章・校歌・制服等検討部会における2次選定では㈱クラロンに決定した

③ カバン、シューズの業者選定について

「カバン・シューズ見本展示」、「制服・ジャージ等選定作業部会による1次選定」を踏まえ、校名・校章・校歌・制服等検討部会において、2次選定を行った結果、次のとおり最終決定した。

○カバン⇒(株)マルヨシ、○シューズ（小学生、中学生）⇒(株)教育シューズ

④ 校章の選考

萩野学園の校章デザインとして最優秀賞となった京野秀明さんのデザインを1次選定した。

(20) 第13回制服・ジャージ等選定作業部会（12月18日（水）、新庄市民プラザ）

① ジャージ等業者との共通事項打ち合わせ

ア 価格について プレゼン提案と同じ

② 取引業者の決定について

ジャージ：大野呉服店、タカハシスポーツ（現萩野小学校ジャージ販売）、
西田五兵衛商店（現昭和小学校ジャージ販売）

カバン：庄司カバン店

シューズ：大野呉服店

③ 品目ごと協議

ア ジャージ：

- ・クラロンでは公的機関による放射能検査をこれまで4回しており、その後、12/5も検査を行った。工場の中も製品も汚染はないとの検査結果であった。
- ・1年生から9年生まで同じタイプということ。
- ・トレパン、トレシャツ、ハーフパンツの素材は中学校のもので、色は紺
- ・半袖の素材は小学校のもの

イ カバン：

- ・マークは校章が入る形で三角形になる。校章のカラーは黒1色。
- ・カバンの底鉤はこのデザインには付けられない。
- ・保障は、通常使用で修繕が必要になったときは3年間

ウ シューズ：

- ・内履きや外履きのシューズは28cmでも価格は同じ、小学生内履き（下学年）以外は、サイズが変わっても価格は同じ
- ・カラーは1年生が黄色、2年生が青、3年生が赤、4年生が黄色、5年生が青、6年生が赤、7年生（中1）が黄色、8年生が青、9年生が赤とする（平成26年度時、その後、持ち上がり）。

(21) 第14回部会（平成26年1月16日（木）、東庁舎会議室）

① 第13回制服・ジャージ等選定作業部会報告（12/18）

- ・ジャージの決定事項

- ・カバンの決定事項
- ・シューズの決定事項
- ② 制服等の最終見本の展示について
- ③ 校歌作曲依頼候補者
校名等検討部会では、木島由美子さん(山形交響楽団に作品を多数提供)に、依頼して欲しいと話し合われた。
- ④ 校章デザインのカラーリングについて
京野さんから提案のあったカラーリングの4案について、意見をいただいた。

(22) 第14回制服・ジャージ等選定作業部会(1月22日(水)、本庁舎議員協議会室)

- ① ジャージ業者クラロンとの最終打ち合わせ(ジャージ等改善点提示)
 - ア) 小中(1年~9年)まで同じタイプ
 - ・色(プレゼンでの小学校の色:紺)
 - ・トレパン、トレシャツ、ハーフパンツの素材は、中学校のもの(スペースマスター:吸汗・速乾性に優れる)
 - イ) ジャージの校章は、白抜きでシルクプリント
 - ウ) 半袖の素材は、プレゼン時の小学校のもの(スペースマスターS:吸汗・速乾性+消臭素材)
 - エ) 色は白。胸に校章をプリント。色は紺
 - オ) ネーム縫い付け→
最終的には、ネーム及びサイズタグは、トレーニングパンツ及びハーフパンツの左側サイドポケット裏地袋部分に縫い付ける。なお、洗濯タグのみ尻の部分に縫い付ける。
 - カ) 商品渡しは3月の中旬頃の予定で、更新用より新入生のものを優先的に作る。
 - キ) 小学校1年生は、2月からそれぞれ3店舗へ行ってもらいサイズを見て注文を受ける(商品渡しは3月)
- ③ 制服等展示会について

(23) 制服・ジャージ・カバン・シューズ(最終タイプ)展示会

(1月23日(木)~29日(水))

- ① 日時 平成26年1月23日(木)~1月29日(水)

1/23	(木)	9:00	~	17:00
24	(金)	9:00	~	21:00
25	(土)	9:00	~	12:00
26	(日)	9:00	~	12:00
27	(月)	9:00	~	17:00
28	(火)	9:00	~	21:00
29	(水)	9:00	~	17:00
- ② 場所 萩野地区公民館 2階ロビー
- ③ 展示物 萩野地区小中一貫教育校(萩野学園)導入予定の制服、ジャージ、カバン、シューズ

- ④ 案内者 萩野学区幼保園児、小中学校児童生徒、同保護者、地区民、市民
- ⑤ 参観者 約97名（延べ7日間）
(児童、生徒、幼児、保護者、地区の方、市民他)

(24) 第15回部会（2月18日（火）、東庁舎会議室）

① 検討事項経過報告

- ・校章のカラーリング、校歌作曲者の決定について
- ・PTA組織及び予算について
- ・新後援会組織について

② カバンの校章マークのカラーは紺色を選定する。

③ ネームプレート取扱い業者の選定について

大きさは、現在小学校で使っているサイズとする。現在各小中学校のネームプレートを作成している2業者に発注から納品までの諸条件を提示して見積もりを徴収し決定する。